平成29年度　法人の執行状況報告（案）

【周年事業の実施】

ゆうかり学園開設50周年、サービスセンター『くれぱす』20周年、ゆうかり保育園10周年を記念して、11月22日、城山ホテル鹿児島にて記念式典・祝賀会を開催。多くの方々と祝うことができたとともに、歴史を振り返るよい機会となった。

同時に、法人パンフレット、ホームページ、機関紙、名刺、封筒等を統一デザインにリニューアルすると同時に、記念誌（2018年6月発刊）も製作した。

【岡之原エリアについて】

就労系の各事業の売り上げの落ち込みが顕著であった。利用者のみならずスタッフの高齢化に伴う生産力の低下が原因のひとつと考えられる。当法人の強みのひとつである、農畜産業を中心においた取り組みの後継者育成が滞っていることも課題となる。次年度以降、中長期にわたる再構築の手立てを講ずることにしたい。

【上福元エリアについて】

10年目を迎えた保育園であるが、人員不足に悩みながらも事故なく安定的に事業を終えることができた。放課後等デイサービス事業に関しては、年度をまたいでの事業見直しをかけているところである。

【草牟田エリアについて】

工事の遅れに伴い、事業の開始が軒並み遅れてしまった「地域生活支援拠点ゆうかり」であるが事業の安定化を目指し、当初の予定（事業開始から2ヵ年以内の黒字化）をクリアすべく、法人一丸となって邁進する所存である。

【企画事業部】

厚生労働省の受託事業としてスタートした、かごしまアールブリュットセンターであるが、スタッフ配置の滞りが起きてしまい、また、上述の拠点の建築遅れとが相俟って、実質、半年ほどの取り組みとなってしまった。今後、アールブリュットセンターとして、また、バリアフリー映画の上映拠点として、立地、設備をフル活用していきたい。

平成２９年度　　ゆうかり学園　事業報告（案）

１．事業内容

事業	利用者延べ数(名)	開所日数(日)	平均実利用者数(名)
施設入所支援	15,487	365	42.43
生活介護	15,675	240	65.31
就労移行支援	1,645	239	6.88
就労継続Ａ型	1,353	250	5.41
就労継続Ｂ型	7,493	239	31.35

※平成 29 年度実績

２．事業報告

１）施設入所支援

期首 47 名でスタートしたが、6 月に男性 1 名が入所され、8 月に男性 1 名、1 月に女性 1 名が亡くなり、期末 46 名となった。

２）生活介護

期首 74 名でスタートしたが、10 月より男性 2 名が地域生活支援拠点ゆうかりの“ぱすてる”を利用し始めた等あり、期末 70 名となった。生活介護の方の多くが加齢による機能低下が目立つようになり、徐々に介護の支援が増えている。毎日のように通院が必要な方や、園内移動に車いすが必要になっているなど適切な介護が提供できることが必要になっていている。

３）就労移行支援

昨年度に続き、男性 1 名が一般就労に結びついた。今後は定着するように、支援を継続し生活上の悩みや職場での人間関係など支援者が相談に応じるなどして、さらに上を目指していけるように支援する必要がある。

４）就労継続Ａ型

就労Ａ型は今年度も期首 6 名で変化はない。ぽぉくしょっぷ游花里での餃子作りが主な仕事となっている。一所懸命に働いているが、工賃のアップに結び付けられない状況が続いている。

５）就労継続Ｂ型

期首 37 名でのスタートで変化はなく期末 37 名である。これまで就労系の日中活動はゆうかり学園では多くの作業種目があり、利用者の方の能力に応じた作業班に所属しおり、その中でも中心的な日中活動としては畜産、園芸、であったが、生活介護でも述べた通り、高齢化による機能低下から無理ができない方が増えてきている。高齢化に向け配慮が必要な状況である。

日中活動報告

１）園芸（蔬菜）

今年度も、安心安全でおいしい野菜を提供することを目標に掲げて、減農薬での野菜作りから可能な限り無農薬での野菜作りを念頭に置きながら活動に取り組んできた。

利用者の皆さんにもその野菜作りに参加してもらいと充実した活動ができた。現在は主に餃子の具材としてタマネギ、白ネギ、キャベツを中心にして栽培しているが、その他にも季節の野菜つくりにも取り組んでいるところである。

2）園芸(花卉・果樹)

園内の花壇の美化は勿論、ゴルフ場、皆与志療護園などの花壇の管理をおこなって来た。施設外での活動で利用者の皆さんも楽しく参加してもらっている

果樹では、ミカン、ブルーベリーの栽培と、加工品（ジュース、ジャム）も例年通り取り組んだ。

また、ゆうかり保育園の園児たちのミカン狩り、ブルーベリー狩りの場として今年も利用してもらい，楽しんでもらうことが出来た。

3）畜産

かごしま黒豚、黒牛の生産から加工販売まで一貫した畜産活動に取り組んできた。品質の高い肉の生産のため工夫した餌を与えるなど、肥育の充実を目指している。

また、黒牛の方は、全国的にかごしま黒牛の評価が高いことから、競り値も高値が続いている。これも毎日の管理を積極的に行ってくれる畜産部の利用者の皆さんのがんばりのおかげである。

4）工芸（木工・竹工）

屋久杉の材料確保が難しいことから少人数での活動が続いている。今年度も屋久杉の小物を主に製作した。門松の製作は例年通り職員を中心に活動した。

竹工については、庭ほうきの材料の確保が課題になる中で、注文にようやく応じることが出来た。また、利用者の方で工程が出来る方が高齢になり、作業能力の低下が見られるようになってきている。

5 ）紙工箱折り

めぐい、スプラウトシール貼りの注文を受けての活動が日々続いている。

お盆シーズンや正月前などの繁忙期には、他の活動班からの応援を貰いながら対応出来た。利用者の皆さんはそれぞれ一生懸命に作業されている。また毎週木曜日の手芸にもまじめに取り組まれていて充実した活動であった。

6）そうさく

健康の維持、管理に気をつけなければならない方も多く、まずバイタルチェックを毎朝、夕に必ず行い活動に入る。リサイクル活動では空きかん、ペットボトルの分別、圧縮作業、リサイクル活動のないときは散歩やレクリエーションを企画して活動している。今後もこれまでの活動の他に、利用者の皆さんが楽しめる活動を事前に企画して実行したい。

7）生活介護

対象者が高齢や重度の障害のある方であることから、毎日の健康状態には気を配りながら、健康体操や、歩行散歩、リクリエーションなどを中心にした活動で今後も健康維持を第一に考えた支援をする。

8）ぽぉくしょっぷ游花里

利用者の皆さんがそれぞれの持ち場で頑張って活動されている。餃子作りの技術も向上しているようであるこれにより、ぽぉくしょっぷの安定した生産活動が続いてい

るようである。仕事も慣れてきたとこで課題になっているお盆、正月の繁忙期のストック作りをみんなでクリア出来るようにしたい。

3．職場実習及び施設外実習

平成29年度も、前年度同様にニッセイ鹿児島、ゆうかり保育園、久保水耕園、富士産業さんへの職場実習として受け入れをしていただいた。ユニットを組み職場へ通勤するなどの取り組みを行ってきた。金銭管理や余暇の過ごし方の課題であるので今後の支援が重要になってくる。

4．平成29年度　活動報告

① 行事・研修会関係

月／日	行事	参加人数
4/13	県社会福祉協議会総会	1
4/16	合同バザー	
4/28	施設親善球技大会	
4/30	保護者会	
5/10	施設実習連絡会	1
5/12	伊敷台民生委員ボランティア活動	
5/21	県障害者スポーツ大会	4
5/22	さくらじまサポート協会事務説明会	1
5/26	草牟田拠点上棟式	
6/8	市指導監査説明会	4
6/18	鹿児島地区知的障害施設職員球技大会	6
6/23	医療福祉専門学校ガイダンス	2
6/30	保護者との交流会	
7/3	鹿児島養護学校事業所説明会	2
7/7	武岡台／串木野養護学校事業所説明会	4
7/11	姶良校区コミュニティー協議会見学	50
7/14	さんさん会ボランティア活動	1
8/9	就職ガイダンス	2
9/2	施設職員ソフトボール大会	14
9/2	明桜館高校体育祭	20
9/14	電設協会ボランティア活動	20
9/17	鹿児島市スポーツ大会	5
10/4	月見会	
10/10	警察学校生との交流	58
11/3	おはら祭り	
11/5	わくわく福祉交流フェアー	
11/19	農林水産まつり	

11/22	ゆうかり学園創設５０周年記念式典	
12/2	地区障害者スポーツ記録会	
12/5	利用者忘年会	
12/22	アイアイラーメン招待	30
1/5	新成人を祝う会	1
1/12	さんさん会	2
2/28	しょうぶ学園職員見学	10
3/9	木下サーカス贈呈式	10

②各種研修会

月／日	各種研修会	参加人数
6/15･16	新任職員研修会	3
6/27･28	防火研修会	2
8/2	苦情解決研修会	1
8/18	感染症研修会	1
8/18	グループホーム給食研修会	1
9/12	人権擁護研修会	1
9/14	強度行動障害研修会	2
10/17	強度行動障害研修会	2
11/30~12/1	強度行動障害研修会	2
12/27	虐待防止研修会	1
1/13･14	保護者・職員との研修会	5
1/30	サービス管理責任者研修	2
1/30	苦情解決研修会	1
3/2	就労支援研修会	1
3/23	各種部会研修会	4

③研修生等の受け入れ状況

期間	所属	参加人数	実習内容
6/5～6/16	鹿児島国際大学	3	保育実習
2/5～2/19	鹿児島国際大学	1	保育実習
8/16～9/15	九州保健福祉大学	1	社会福祉士
6/12～6/16	鹿児島医療福祉専門学校	5	歯科衛生実習
7/10～7/16	鹿児島医療福祉専門学校	6	歯科衛生実習
9/11～9/15	鹿児島医療福祉専門学校	5	歯科衛生実習
10/16～10/20	鹿児島医療福祉専門学校	5	歯科衛生実習
11/13～11/17	鹿児島医療福祉専門学校	5	歯科衛生実習
2/20～3/1	香蘭女子短期大学	4	保育実習
3/17～3/25	香蘭女子短期大学	4	保育実習

2/28～3/12	鹿児島純心短期大学	1	保育実習
4/12～5/10	家裁少年	1	短期補導委託
6/22～6/29	家裁少年	1	短期補導委託
7/24～7/31	家裁少年	1	短期補導委託
3/12～3/16	家裁少年	1	短期補導委託
6/19～6/30	串木野養護学校	1	産業現場実習
7/4	武岡台養護学校	1	体験実習
9/25～10/6	武岡台養護学校	1	産業現場実習
10/10～10/20	鹿児島養護学校	1	産業現場実習
10/10	鹿児島県警察学校生（高卒）	48	利用者との交流
2/2	鹿児島県警察学校生（大卒）	10	利用者との交流

担当　中原　大辻　松元　髙山　大平

【平成29年度の反省と課題】

・ 昨年度と同様、年間を通じて多くの研修生、実習生が来園した。関わる中で、受け身の研修生が多くなってきているように感じている。そのため、係としてより利用者の事を知ってもらいよい研修になるよう、疑問・質問を引き出す努力をする必要があると感じている。

・ 計画表を作る際、一人の職員に複数の研修生が付き負担をかけてしまった。次年度は職員全体にバランスよく指導していただけるように出来る限り配慮していきたい。

・ 短期補導受け入れについては、今年度は大きなトラブルもなく無事に補導期間を終えることが出来た。また、少年自身も自分が誰かの役に立てると実感できたと感想を話しており、利用者とのかかわりの中で少しづつ自信を持てたのではないかと感じられる。また、引き続き学園での期間が終わった後の進路等にも助言ができるよう、情報提供などを積極的に行っていく。

④短期入所利用状況

月	利用人数	利用日数	月	利用人数	利用日数
4月	3	34	10月	3	38
5月	2	33	11月	2	35
6月	4	36	12月	1	31
7月	6	59	1月	2	43
8月	2	39	2月	3	39
9月	3	47	3月	3	49

【29年度の反省と課題】

・ 所持品管理を徹底することによって、紛失を防ぐことが出来た。

・ 福祉の森に記録を入力しているが、未だに記録漏れがあるため、必ず記入していただけるようご協力をお願いします。

5．監査指摘事項

7月18日　指導監査　ゆうかり学園　（文書　0件　　口頭　1件）

平成29年度　グループホームゆうかり　事業報告（案）

1. 事業内容

名称	定員(名)	現員数(名)	名称	定員(名)	現員数(名)
さくら荘	女性）5	4	きんもくせい	男性）6	4
わかたけ荘	男性）4	4	すずらん荘	男性）7	5
びおら	男性）4	4	あじさい	男性）5	4
第2わかたけ荘	女性）6	6	コスモス	女性）5	5
ひまわり	女性）4	4	さざんか	男性）6	6
わかば	女性）4	4	たんぽぽ	男性）5	5
まるおか	男性）4	4	もくれん	男性）5	5
あおい	男性）5	4			

※平成30年3月31日

2. 事業報告

1) たんぽぽ・もくれん

1名病気のため亡くなられた。そのあと入居された方は闘病生活を送られている。夜勤者を配置するホームのモデルケースとして支援体制構築中。

2) わかたけ荘

2名の入居者の方がアパート暮らしを希望され、実現に向けて検討を重ねてきたが、本人たちの申し出により保留中。

3) あじさい・びおら

高齢化に伴い、学園周辺に引越したいとの要望が多くあった。一方、就労者には交通の便が良いため、卒業して間もない方のニーズは高く、今後の支援体制を要検討。

4) 第2わかたけ荘

女性利用者と、他施設の男性利用者との関係にて見守り等支援継続中。

5) わかば

日中活動への参加が困難な利用者への見守り支援継続中。

6) きんもくせい

職員不在時の癲癇の発症などの可能性があるため、今後の夜間支援体制について要検討。

7) さざんか

夜間の巡回回数を増やすなど、他の利用者への暴言が酷い方に対する声掛けと見守りを継続中。

8) さくら荘

近隣からの苦情のため転居先を探している。物件が見つかり次第解約、転居先との契約を進める予定。

平成29年度期首から現在までに、グループホーム利用者2名（男性）が亡くなられた。

また入居者同士のトラブル、恋愛など、今後の支援について検討を重ねている。

グループホームゆうかり

平成２９年度　地域生活支援拠点ゆうかり　事業報告（案）

【１】運営の基本方針　各事業共通

《事業名》

『生活介護』　『共同生活援助・短期入所』

『一般相談支援、特定相談支援、児童（障害児）相談支援』

『居宅介護、重度訪問介護、行動援護、同行援護、移動支援等』

『鹿児島市障害者地域生活支援拠点事業（安心コールセンター機能）』

地域で暮らす一歩を安心して踏み出すための拠点として、障害のある方々が住み慣れた街で心から安心して暮らすことできる地域づくりを推進します。それが当たり前になる未来を目指して、様々な支援を切れ目なく、不安なく提供できる仕組みづくりを進め、障害のある人もない人も共に歩んで行く場所を目指します。

【２】平成２９年度の概要

◎拠点事業全体

平成３０年３月３１日現在

事業	定員	期首	現員
共同生活援助 （くろーばー）	７名	６名	６名
共同生活援助 （すみれ）	７名	５名	平成 30 年４月 開所
短期入所 （あすてっぷ）	６名		１名
生活介護 （ぱすてる）	２０名	１０名	１０名
特定相談 （『くれぱす』）	―	１７７名	１７９名
児童相談 （『くれぱす』）	―	３７名	３７名
居宅等 （『くれぱす』）	平成２９年１０月 以降休止中		

◎全体所感

地域生活支援拠点が開所して６ヶ月が経過した。まずは、基本事業である共同生活援助の満床及び生活介護の新規利用者を増やしてベースとなる活動の確立を目指してきた。短期入所は、人的・環境的にフル稼働するには課題が多くみつかった。相談支援は、法人全体の体制が変化する中での現状維持が精一杯な状況となった。鹿児島市障害者地域生活支援拠点事業は、初年度ということもあり、手探りでの事業実施となった。行政機関及び地域の関係機関との連携を図り事業を展開できた。

【３】各事業報告

○生活介護　ぱすてる　定員２０名

１）利用状況

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
開所日数	21	20	20	17	19	21	118
利用者延べ数（名）	21	20	49	50	69	107	316
平均実利用者数	1	1	2.45	2.94	3.63	5.09	2.68
稼働率							13.40%
単位数	22,223	20,569	57,928	61,809	83,748	112,548	358,825
平均区分	5	5	5.5	5.7	5.4	5.1	

（平成30年3月31日現在）

No.	区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	5	21	20	17	17	17	21
2	5			11		5	5
3	6			12	16	18	12
4	6			9	17	19	21
5	6					2	6
6	5					4	7
7	5					4	4
8	6						7
9	6						4
10	4						5
11	3						5
12	4						5
13	5						5
	5.08	21	20	49	50	69	107

（平成30年3月31日現在）

２）事業報告

契約者数１０名・稼働率１０％を目標としてスタートした。１３名の契約者の内５名の方は曜日を限定して利用しているため稼働率の伸びは小さかった。

要望としては、『外出』『運動』『社会見学』等の活動希望が多く、公共交通機関を利用した活動内容も組み込んできた。様々な障がい特性への個別対応や、要望の中に『働く』『仕事』というキーワードも現れている。

3）実習生受け入れ状況

期間	男性	女性	所属	趣旨
1月15日から19日	1		武岡台養護	特別実習

4）短期補導委託受け入れ状況

期間	男性	女性	所属	趣旨
11月29日から12月1日	1		家庭裁判所	

5）ぱすてる見学・体験会

期間	見学者数	保護者・先生含む総数
12月9日	5名	13名

＊12/9の見学者は5名だったが、日程が合わない方はその後随時受け入れた。
＊実際に、ぱすてる利用に繋がった方　3名。（くれぱす利用者2名、新規1名）

○共同生活援助　くろーばー　定員7名　すみれ　定員7名※平成３０年４月～
1）利用状況

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
件数（利用人数）	3	3	4	4	5	6	25
開所日数	31	30	31	31	28	31	182
定員（7）×開所日数	217	210	217	217	196	217	1274
利用日数	91	89	104	101	127	158	670
稼働率	41.94%	42.38%	47.93%	46.54%	64.80%	72.81%	52.59%
単位数	70,964	69,573	80,592	79,891	92,848	113,392	507,260
平均区分	5	5	5	5	4.6	4.6	

（平成30年3月31日現在）

No.	区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
1	5	30	30	28	29	27	27	171
2	5	31	30	31	31	28	31	182
3	5	30	29	25	24	27	27	162
4	5			20	17	28	21	86
5	3					17	31	48
6	5						21	21
区分平均→	4.67	91	89	104	101	127	158	670

（平成30年3月31日現在）

2）事業報告
開所当初は定員7名に対し3名（内2名はゆうかり学園より、1名は在宅より）でのスタートであった。１２月・２月・３月に各１名が入居し、現在６名となっている。

○短期入所　あすてっぷ　定員６名（内１床は緊急一時保護用に空床補償）

１）利用状況

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
件数（利用人数）	0	2	3	5	7	6	23
開所日数	31	30	31	31	28	31	182
定員（5）×開所日数	155	150	155	155	140	155	910
利用日数	0	7	6	24	16	17	70
稼働率	0.00%	4.67%	3.87%	15.48%	11.43%	10.97%	7.69%
平均区分	5	5	5	5	4.6	4.6	

（平成30年3月31日現在）

No.	区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
1	3		2	2		2	2	8
2	5		5					5
3	6			2	2	2		6
4	6			2	2			4
5	3				2	2		4
6	5				6	4	6	16
7	3				12			12
8	4					2		2
9	4					2		2
10	5					2	2	4
11	3						3	3
12	3						2	2
13	3						2	2
区分平均→	3.57	0	7	6	24	16	17	70

（平成30年3月31日現在）

利用契約月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
利用契約者	0	2	3	7	3	8	23
内　男性	0	2	2	4	2	5	15
内　女性	0	0	1	3	1	3	8
内　成人	0	1	0	0	0	2	3
内　児童	0	1	3	7	3	6	20

（平成30年3月31日現在）

２）事業報告

平成２９年１０月１日、短期入所事業所あすてっぷ開所。６部屋の内１部屋は、緊急時対応用として空床とし、その他の５部屋を適時調整しながら受入れた。徐々に稼働率を高めていく必要があったが、なかなか目標値には達しなかった。

課題として、契約者数は増えているが、実利用に至っていないこと、２階フロアの６部屋の活用ができていないこと等があげられる。夜勤者の配置が別フロアになるため、ニーズが合致する利用者が少なく利用受け入れが消極的になった面も影響していた。契約及び定期利用者を増やすと同時に、２階フロアでの受け入れが積極的に出来るように、事業内容及び職員配置等を検討して利用者の増加に努めたい。

○一般相談支援、特定相談支援、児童相談支援　相談支援事業所『くれぱす』

１）利用状況

指定特定相談支援・児童相談支援　実績集計（平成29年4月～平成30年3月）

		H29.4	H29.5	H29.6	H29.7	H29.8	H29.9	H29.10	H29.11	H29.12	H30.1	H30.2	H30.3	件数
全体	サ等計画	11	12	9	26	6	9	6	3	5	6	9	11	113
	サ計・モニ	11	11	14	15	19	22	18	14	24	14	23	16	201
	児支計画	8	5	6	3	1	1	0	2	2	1	2	2	33
	児計・モニ	2	7	2	3	2	4	4	4	1	2	1	1	33
													全総件数	380
法人（入所 GH 通所 くれぱすスケッチ）	サ等計画	9	7	5	25	1	7	5	2	2	2	6	7	78
	サ計・モニ	9	7	10	9	15	17	10	9	24	10	19	15	154
	児支計画	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
	児計・モニ	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3
													総件数	239
法人以外	サ等計画	2	5	4	1	5	2	1	1	3	4	3	4	35
	サ計・モニ	2	4	4	6	4	5	8	5	0	4	4	1	47
	児支計画	7	3	6	3	1	0	0	2	2	1	2	2	29
	児計・モニ	1	7	2	3	1	3	4	4	1	2	1	1	30
													総件数	141

（注）「サ等計画」「サ計」…『サービス等利用計画』　「モニ」…『モニタリング』

「児支計画」「児計」…『児童支援利用計画』

平成 ２９年度	全体 利用者（前年度比）	法人内サービス 利用者（前年度比）	その他 利用者（前年度比）
特定相談	１７９（－１０）名	１３６（＋　２）名	４３（－１０）名
児童相談	３７（－　１）名	４（－　４）名	３３（＋　３）名
合計	２１６（－１１）名	１４０（－　２）名	７６（－　９）名

※平成３０年３月末時点の利用者数（初回の計画請求まで至った利用者総数）

２）事業報告　担当職員　：塩満、鳥丸

鹿児島市在住の障害児（者）および保護者等からの相談支援、電話相談、訪問相談、関係機関との連携などを行なってきた。計画作成が主で、電話相談、訪問相談、同行相談、来所による相談等を実施している。内容としては計画作成依頼、福祉サービスの利用についての相談、本人の不安の解消、情緒安定に関する支援が多かった。

相談支援の実施状況としては上記（実績集計）の通りである。計画及びモニタリング作成の月平均は約３１．６件/月（昨年度比較＋０．２）となっている。法人利用者が 136 人、全体数では２１６人（昨年度比較＋４人）となっている。

○在宅支援サービス（居宅介護、重度訪問介護、行動援護、同行援護、移動支援）

サービスセンター『くれぱす』

１）利用状況

平成 ２８年度	合計 （前年度比）	男性 （前年度比）	女性 （前年度比）	男児 （前年度比）	女児 （前年度比）
身体介護	２（－１）	０（±０）	２（＋１）	０（±０）	０（－２）
重度訪問	０（－１）	０（±０）	０（－１）	０（±０）	０（±０）
行動援護	７（±０）	２（±０）	２（±０）	３（±０）	０（±０）
同行援護	１（－１）	０（±０）	０（－１）	１（±０）	０（±０）
移動支援	８（－１）	３（±０）	３（±０）	１（±０）	１（－１）
合計	１８（－４）	５（±０）	７（－１）	５（±０）	１（－３）

※平成２９年９月末時点の利用者数　（単位：名）

２）事業報告

在宅支援サービスは、草牟田拠点事業の事業申請の関係で事業休止となっている。草牟田拠点の１０月開所に向けた準備と事業休止の説明や挨拶回りを同時進行で行いながらのサービス提供となった。サービス提供に伴う大きな事故等なく実施できた。

○鹿児島市障害者地域生活支援拠点事業（安心コールセンター）

１）利用状況　※障害者地域生活支援拠点実績報告書　次頁参照

２）事業報告

２４時間３６５日、緊急時の対応や体験の場の提供等のコーディネート業務を行ってきた。基幹センターが開所していない時間帯のカバーが必須となっており、法人内外の協力を経て、拠点へ相談員等が宿直する体制を継続することが出来た。

障害者地域生活支援拠点実績報告書（平成29年10月～平成30年3月分）

1. 地域生活支援拠点　相談件数

（単位：件）

	(a)相談件数
(d)全体	160
(e)dのうち時間外	74

2. 相談内容の内訳

（単位：件）

①家族等養護（介助）者の疾病等による急な不在	②身体機能・行動上の制約から自宅等での生活が困難となった場合	③知的障害における行動障害や情緒不安定等により自傷・他害の恐れのある場合	④精神障害者における精神的不安等に伴う一時的な避難等
3	0	0	13
⑤福祉サービスの利用等	⑥障害や病状の理解	⑦健康・医療	⑧不安の解消・情緒安定
101	0	0	21
⑨保育・教育	⑩家族・人間関係	⑪家計・経済	⑫生活技術
0	7	1	0
⑬就労	⑭社会参加・余暇活動	⑮権利擁護・成年後見制度等	⑯その他
1	0	4	9

3. 1の拠点相談件数の内、緊急相談・緊急一時受入件数

（単位：件）

	(a)相談件数	(b)aのうち、緊急相談	(c)bのうち、緊急一時受入
(d)全体	160	28	5
(e)dのうち時間外	74	15	2

3. 緊急相談・緊急一時受入の内容

◎緊急一時受入：平成29年11月18日（土）～平成29年11月21日（火）＝3泊4日
・【対象者】精神（2級・統合失調症）、身体（聴覚）、59歳、女性　・【主たる支援内容】家族関係の悪化（虐待の疑いあり）による緊急一時保護受入

◎緊急一時受入：平成29年12月10日（土）～平成29年12月12日（火）＝2泊3日
・【対象者】精神、36歳、女性　・【主たる支援内容】精神障害者における精神的不安等に伴う一時的避難等

◎緊急一時保護：平成30年2月26日（月）
・【対象者】発達、32歳、男性　・【主たる支援内容】精神障害（発達障害）者における精神的不安等に伴う一時的避難等

4. 地域生活の体験の場の提供

問合せ件数（合計）	予約件数（合計）	実施件数（合計）	
（51人）　68件	（25人）　33件	（24人）　32件	（24人）76日
短期入所（SS）	予約件数	実施件数	
（40人）　46件	（25人）　33件	（24人）　32件	（24人）76日
共同生活援助（GH）	予約件数	実施件数	
（24人）　27件	（1人）　1件	（0人）　0件	（0人）0日

5. 地域生活の体験の場の実施場所の内訳

（単位：人）

（福）ゆうかり 短期入所事業所あすてっぷ	落穂会	育成会	青鳥会
23			
慈愛会	吾子の里	麦の芽福祉会	正和会
（福）ゆうかり 短期入所事業所 ゆうかり学園			
1			

地域生活支援拠点 ゆうかり　サービスセンター『くれぱす』

平成29年度　ゆうかり保育園　事業報告（案）

【全体所感】

この１年、子どもたちはのびのびと遊び、学び、泣き、笑い、様々な行事を一つひとつ通して大きく成長する姿があった。

英語(外部講師)は楽しんで参加しており、英語の時間以外でも簡単な単語が飛び交うようになった。遊びを通して外国語を学び、発表会でも歌を披露できるようになった。

平成３０年度も楽しく取り組めるよう講師と連携をとり進めていきたい。

夏の恒例行事であるお泊り保育では、年長組が一晩家族と離れて過ごし、朝帰っていく姿に成長を感じる。もう一度したいと子どもの声も上がるようになってきた。今後も年長組の行事として、子どもの心に残るものになるよう工夫していきたい。

平成２９年度はインフルエンザＡ・Ｂとも感染があった。１２月の発表会前に発症し始め、子ども、職員の大半が感染。近年、嘔吐下痢等、ウィルス性の感染症が流行している為、集団生活の場であることを意識して感染の予防に努めていく必要があると感じた。

① 特色ある取り組み

＊スポーツ教室	月１回　吉留早木子先生による指導 ３歳以上児対象
＊食育	月１回　クッキング・食育　３歳以上児対象
＊読み聞かせ	月２回　外部講師を招いての読み聞かせ
＊卒園児交流事業	夏休み　前年度卒園した１年生を招いて当時の担任と園外活動を行う
＊環境	キャンドル制作・花、野菜栽培など

＊ゆうかり学園利用者さんとの関わり

ゆうかり学園利用者さん（３名）に保育園にきていただき、保育補助をすることで園児や職員との交流を図る。また、保育園児と保護者が学園へ行く機会をつくり、学園との交流を行う。ゆうかり学園ならではの、ブルーベリー狩り、みかん狩り、芋の苗植え、芋掘り、豚舎の見学等を体験し、利用者さんの助けをいただきながら自然と触れ合う機会を多く作ってきた。

今後も学園の環境、職員、利用者さんの力を借りながら子どもの『楽しかった』という思いを全員で味わっていけるように努めていきたい。

② 【在籍園児の状況】

園児の状況

平成 30 年 3 月 31 日現在　✿８１名

0 歳児		1 歳児		2 歳児		3 歳児		4 歳児		5 歳児		全体	
たんぽぽ		いちご		さくらんぼ		うめ		もも		さくら			
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
4	3	6	5	6	5	9	9	5	8	１２	9	４２	３９

平成 30 年 5 月 1 日現在　✿７０名

0 歳児		1 歳児		2 歳児		3 歳児		4 歳児		5 歳児		全体	
たんぽぽ		いちご		さくらんぼ		うめ		もも		さくら			
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
2	3	6	6	6	5	6	4	9	9	6	8	３５	３５

障害児等

平成 30 年 3 月 31 日現在

障害児		軽度障害児		療育支援児	
男	女	男	女	男	女
2				1	2

平成 30 年 5 月 1 日現在

障害児		軽度障害児		療育支援児	
男	女	男	女	男	女
1	3			1	1

③ 【行事の実施状況】　　・うめ→年少組　・もも→年中組　・さくら→年長組

月	日	行事内容	備考
4	1	入園式	新入園児及び保護者
4	8	保護者会	保護者・職員
4	16	ふれあいバザー（ゆうかり学園）	職員
5	13	親子遠足（平川動物公園）	全園児及び保護者
5	28	清掃活動	保護者(父)・職員
6	9	芋の苗植え	もも組
6	26	田植え	さくら組
7	6・13	ふれあいスポーツランド　プール	さくら組
7	16	お泊り保育	さくら組
7	25	ブルーベリー摘み	うめ組
7	26	西谷山夏祭り	もも組（地域の祭りに参加）
8	4	そうめん流し	３歳以上児
8	26	卒園児同窓会プログラム	新１年生

9	19	ゆうかり学園　敬老会	さくら組
9	21	防犯教室	3歳以上児
9	30	親子レクレーション(ふれスポ)	全園児及び保護者
10	11	稲刈り	さくら組園児及び保護者
10	20	コスモス遠足	3歳以上児考　考古歴史館
10	31	収穫祭	3歳以上児
11	3	おはら祭	さくら組・保護者・希望者及び職員
11	11	芋ほり	もも組
11	14	みかん狩り	うめ組
11	24	親子ふれあい子育て事業（文化ホール）	3歳以上児
12	17	発表会	全園児及び保護者　国際大学
1	11	もちつき	上村管理者による協力
3	17	卒園式	卒園児及び保護者　3歳以上児
3	20	お別れ遠足	木下大サーカス　3歳以上児 平川動物園　　1・2歳児

◆毎月　誕生会、スポーツ教室(外部講師)、読み聞かせ（外部講師)、英語(外部講師)
　　避難訓練、身体測定、食育・クッキング

◆鹿児島市立図書館移動図書館(年間20回)

◆保護者茶話会(年間3回)保護者・職員

◆内科検診　6月7日（水）
　　10月4日（水）　　【年2回】ゆあさこどもクリニック
　歯科検診　11月8日（金）　　【年1回】みちよデンタルクリニック

④ 【職員研修状況】

期日	研修会	会場	講師	担当
5月8日 ～9日	社会福祉施設新任職員研修	マリンパレス鹿児島	森山　重康 春田　尚子	札元
5月27日	全体研修会	県自治会館	迫田　圭子	右田・坂中
6月15日	保育カウンセリング研修	県自治会館	大竹　直子	末廣
6月15日 ～16日	社会福祉施設新任職員研修	サンロイヤルホテル	水流　純大 森田　善博	長濵
6月23日	感染症予防・口腔ケア研修			岡田
6月24日	南ブロック保育実技研修	国際大学	福山　孝徳	黒葛
6月24日	南ブロック栄養士研修	谷山北公民館		長濵
7月5日 ～7日	乳児保育担当者研修	ホテルモントレグラスミア大阪	矢野　景子 他	坂中
7月12日	救急救命・乳児の感染症研修	県青少年会館		神之
7月19日	レクリエーション研修	県青少年会館	県レクリエー	松元

			ション指導員	
８月２ ～８月３日	保育園視察及び交流	福岡市		黒葛
８月２３日	食と農の指導者研修	県農業大学		長濱
８月２６日	鹿児島市ブロック合同研修	県自治会館	町田　和恵	長濱
９月１１日	給食従事者研修	市民福祉プラザ		長濱
９月２２日	南ブロック主任研修	しらゆきこども園		鳩宿
１０月１１日	保育実践研修	奄美の里	石井　友光	松元
１１月１５日 ～１７日	第６１回全国保育研究大会	兵庫大会		酒匂
１０月２８日	南ブロック栄養士研修	谷山市民会館	町園　弘子	長濱
１１月１７日	アタッチメント研修	サンロイヤルホテル	遠藤　利彦	須納瀬
１月２４日 ～２６日	第４３回保育総合研修会	ANA クラウンプラザ ホテル神戸	鯨岡　俊 西　研　他	右田
１月２７日	全体研修会	県建設センター	増田まゆみ	坂中・右田
２月９日	危機管理セミナー	市民文化ホール	蓼沼　一郎	
２月２４日	南ブロック保育士研修	国際大学	高槻　恵子	札元
２月２４日	南ブロック栄養士研修	谷山市民会館		
２月２３日 ３月２日 ３月９日	キャリアアップ研修 「乳児保育」	県建設センター		神之

キャリアアップ研修が始まり、通常保育があるなか、１５時間の研修で、二日間にわたる事もあるため、保育に支障が出てくることも懸念されるが、職員のキャリアアップ、また給与にも繋がるため、今後の保育の質の向上のため全員参加できるよう努める。

⑤ 【実習生等　受入状況】

期間	所属	人数
5月1日～12日	★鹿児島看護専門学校	3名
6月5日～16日	★神村学園高等部保育科	1名
6月12日～23日	★鹿児島看護専門学校	4名
6月29日	◎鹿児島南高校家庭科クラブボランティア	15名
7月22日～8月24日	◎サマーボランティア（小・中・高校生　短大・専門学生）	延べ15名
11月7日～10日	☆鹿児島実業高等学校	2名
1月23日～25日	☆鹿児島市立谷山中学校	4名
2月7日～20日	★鹿児島純心女子短期大学	1名
2月15日～16日	☆武岡台養護学校　高等部	1名
2月22日～23日	★国際大学事前実習生	延べ27名

★実習　☆職場体験　◎ボランティア

※合同見学会　鹿児島女子短期大学の学生を対象に御所こども園・御所季の子保育園・西谷山認定保育園・ゆうかり保育園の4園合同見学会を開催。（年2回）

⑥ 【監査結果】

平成29年　7月10日　実施　文書指摘　2件　口頭指摘　4件

⑦ 【職員状況・体制】

	平成29年4月		平成30年4月	
園長	1名		1名	
主任保育士	1名		1名	
常勤保育士	9名	計	8名	計
非常勤保育士	12名	21名	11名	19名
事務	2名		2名	
栄養士	1名		1名	
調理員	3名		2名	
看護師	1名		1名	
職員合計	30名		27名	

人数は多いようだが、支援が必要な子どもがいることや、非常勤保育士の勤務日数、時間等の関係で十分とは言えないため、保育士を確保した上で、待機児童の受入れ、安全な保育を行えるよう努めていきたい。

平成29年度　そだち支援センタースケッチ　事業報告（案）

【1】利用状況

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
開所日数	94日	229日	261日
延べ利用者数	59名	632名	967名

【2】利用者の状況

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
登録児童数	3名	12名	16名

【3】活動内容

季節や学校行事に合わせた内容や、児童が楽しめそうな内容でまたスタッフも興味がある活動をそれぞれ1ヵ月単位で計画した。児童によっては不得手な内容もあったが、取り組みやすい手段や活動に参加しやすい役割などを提案し工夫した。平日は30分、長期休暇は1時間程度の活動であるが、児童全員が可能な範囲で同じ場で過ごせるよう支援した。

	活動	内容
4月	春休みプログラム たてものたんけん キラキラ工作	フルーツゼリー作り たてもの内ルールの確認 人気の万華鏡
5月	的当てゲーム かんたんクッキング ペットボトルけん玉	当たった的の点数を計算 梅が枝餅作り ペットボトルをリサイクル
6月	イエス・ノークイズ選手権 水鉄砲であそぼう スーパーボール作り	○か×か考えよう 雨が降っても楽しもう 好きな色のスーパーボール
7月	ミニミニゲーム おたのしみ会 夏休みプログラム	神経衰弱スケッチ版 フルーツポンチ噴水 手作りうちわ等

８月	夏休みプログラム	工場見学・工作「消える貯金箱」・焼肉ランチ
９月	ミニミニゲーム プラコップコースター工作 スケッチサイエンス	けんけん相撲 プラコップがコースターに ぷかぷか球体実験
１０月	十五夜クッキング ハロウィーン工作 ミステリーツアー	しょうゆ団子 お菓子を入れるバケツ作り 暗闇の中のツアー
１１月	ペットボトル弓矢工作 スケッチサイエンス 秋だ、くだものだお買い物	弓矢で当てよう 浮力で魚が浮き沈み 買ってきた果物カット体験
１２月	クリスマス製作・飾りつけ おたのしみ会 冬休みプログラム ＊体験・見学日	クリスマスカード作り ミルフィーユクッキング 大掃除・餅つき お正月リース
１月	冬休みプログラム おたのしみ会 ＊保護者茶話会 空気ロケット工作	お正月遊び 焼きもち・ぜんざい作り 簡単工作でロケット発射
２月	豆をまいて鬼たいじ バレンタインクッキング スケッチサイエンス	鬼のお面 2017 版 初めてのチョコフォンデュ 熱を使った実験
３月	ひな祭りクッキング たわわでランチバイキング おたのしみ会 春休みプログラム	ひし餅作り 親子で一緒にバイキング マジックショー体験 サーカス見学・温泉外出

【４】研修状況

月日	外部（主催）・内部	内容	参加人数
4/2（日）	外部（鹿児島県自閉症協会）	ASD（自閉スペクトラム症）の理解と支援の概要	２名
6/4（日）	外部（鹿児島県自閉症協会）	午前「配慮が必要な思春期・青年期支援」 午後「配慮が必要な子どもへの支援」	２名
8/8（金）	外部（桜養夏季合同研修会）	ＷＩＳＣ－Ⅲ知能検査の分析	１名
9/2（土）	外部（鹿児島市自立支援協議会）	障害者総合支援法３年後見直しと報酬改定について	１名
10/17（木）	外部（介護労働安定センター）	福祉・介護職員処遇改善加算取得に向けたセミナー	１名
12/15（金）	外部（鹿児島県教育庁）	子供たち一人一人に応じた教育実践の改善・充実を目指して	１名
２/１６（金）	外部（鹿児島県社会福祉協議会）	福祉人材確保支援セミナー	１名

【５】総括

支援の場の主軸である男性スタッフがスケッチへ異動後の年間活動を経験し、利用者・保護者との信頼関係を築き始めた１年間であった。保護者からの事業所に対する評価や要望をもとに反映できることは行い、けがや苦情に対しては迅速に誠意をもって対応するように心がけた。新規契約は口コミによるものが大多数であるが、体験見学会や保健センターから繋がったケースもある。運営の安定のためにも、活動内容の充実と共に広報や営業に対して事業所・法人が一丸となって取り組みたい。